

SDGs特別賞		SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	
広告主名	一般社団法人あすには	期間	2024年3月1日 ～ 2025年3月31日
施策名	Think Name Project	地域	全国
施策に該当する ゴールナンバーに○	1・2・3・4○56・7・8・9○1011・12・13・14・15・16・17	媒体	テレビ/WEB
1. 課題策定までのストーリー（社会課題をどう捉えたのか） 日本は世界で唯一、結婚時に夫婦が同じ名字にしなければならない。 名字を変える95%が女性と大きく偏っており、名義変更の手間、旧姓で培われたキャリアのロス、アイデンティティロスなどの弊害を引き起こしている。 にも関わらず、40年以上法改正にいたっていない。 ジェンダー平等推進NGOのあすにはは、多くの国民がこの問題に関心であることを不安視しており、法改正に向けて世論喚起する必要があると感じていた。		2. SDGs目標達成につながる広告制作物や施策内容 「名字の絶滅」という全く新しいアプローチを考案。 東北大学の教授に法改正されなかった場合の名字シミュレーションを依頼、 「2531年、日本人の名字は全員佐藤さんになる」とう結論を導き出した。 厚生労働省での記者会見で発表。 またSNSで話題化するために、企業40社は自社アセットを「佐藤」に変えソーシャル投稿。 この問題をスイスの国連でも発表し、国連から日本政府に2年以内に法改正するように勧告がでた。 40年動かなかった問題が、今変わろうとしている。	
		3. 成果や反響（社会に対するインパクト、社外からの評価、社内からの反応などをご記入ください） - 世界102カ国、1500以上のメディアで報道され、世界的に注目されるNGOに - スイス国連の女性差別撤廃委員会でも発表し、日本政府に2年以内に法改正するように要請が出た - 国会の憲法審査会で議題に上がり、衆議院選での中心トピックに - 大学の教科書にも掲載されることが決定	
自由表記 ●NGO、大学、企業40社共同のプロジェクトである。 ●クリエイティブチームの依頼で、東北大学の教授が論文を作成。エージェンシーと大学の新しい形をつくった。 ●スイス国連の女性差別撤廃委員会にてスピーチを行い、日本政府から2年以内に法改正するように勧告がでた。実際に法改正する動きになっている。 ●クラウドファンディングで1000万円の活動費を獲得 ●シミュレーションは大学の教科書にも載ることが決定 ●国会の憲法審査会で議題に上がり、衆議院選での中心トピックに ●スイス国連の女性差別撤廃委員会でも発表し、日本政府に2年以内の法改正の要請が出た ●多くのクリエイティブアワードを受賞 London International Award / MAD STARS / ACC / PRアワード / ONE Asia / ADFEST / Spikes			